

會 告

第 二 回 工 學 會 大 會

來る昭和七年四月五日より九日まで東京市に於て第二回工學會大會を開催する事に決定されました日程概要下記の通り

4月5日(火) 工學大會 晚 餐 會 (東大講堂) (上野精養軒)	4月6日(水) } 部會 (夜) 國產展覽會 4月7日(木) } 無線放送
日本鐵鋼協會代表講演 本邦製鐵事業の今日と將來	4月8日(金) } 見學 (夜) 通俗講演會 4月9日(土) }
日本鐵鋼協會前會長 工學博士 今泉嘉一郎君	

日本鐵鋼協會第八回講演大會順序

(第二回工學會大會部會)

第一日 四月六日 水曜日 午前九時開會
會 場 東京帝國大學文學部第二十九號 教室
開會の辭 日本鐵鋼協會々長工學博士 俵 國 一君
講演會 午 前 の 部

- 1) 高爐用骸炭製造の一考察 9.00—9.20
製鐵所化工部骸炭課技師 工學士 伊 能 泰 治君
- 2) 八幡製鐵所洞岡第一鑄鐵爐内形の決定に就いて 9.25—9.45
八幡製鐵所銑鐵部々員 工學士 山 岡 武君
江 口 貞 吉君
- 3) 一酸化炭素、炭酸瓦斯及窒素混合瓦斯に由る鐵鑄石還元實驗 9.50—10.10
東北帝國大學工學部金屬工學科 工學士 石 部 功君
工學士 平 野 昇君
- 4) 八幡製鐵所に於ける鑄鐵爐瓦斯、骸炭爐瓦斯、發生爐瓦斯使用上に於ける被害豫防法に就いて 10.15—10.35
製鐵所醫務部衛生課 藥劑士 氏 岡 正 行君
- (10分休憩)
- 5) 鹽基性平爐改造の經過と其の成績に就いて 10.45—11.05
川崎造船所製板工場製鋼課長 工學士 西 山 彌 太 郎君
- 6) 高周波誘導電氣爐の研究(第1報) 15 K.V.A. 靜 11.10—11.30
止型變流裝置使用高周波誘導電氣爐に就て
株式會社芝浦製作所 中 村 素君
- 7) 電解製鐵の研究(第2報) 11.35—11.55
日本電解製鐵所技師 工學士 花 岡 元 吉君

書 食

社團法人 日本鐵鋼協會第十七回通常總會順序

會 場 東京市本郷區本富士町一番地 東京帝國大學文學部第二十九號 教室
時 日 昭和七年四月六日 午後一時開會
接 拶 社團法人日本鐵鋼協會 理事、會長 工學博士 俵 國 一君
1、議 事 イ、昭和六年度會務報告 ロ、昭和六年度收支決算報告 ハ、昭和七年度收支豫算に關する件 ニ、任期滿了役員會長、理事、評議員半數改選(投票、開票)

1. 服部賞牌並服部賞金贈呈式

- 講演會 午 後 の 部 午後二時開會
- 8) 本邦に使用せらるる鑄物砂及其原料 2.00—2.20
廣海軍工廠造機部々員 海軍造機少佐 工學士 武 智 馨君
 - 9) 鋼鑄物製造に於ける經濟的考慮 2.25—2.45
株式會社日本鑄鋼所技師 市 川 直 雄君